

学校給食食材の放射性物質の測定検査の結果について（第2回）

検査は株式会社同位体研究所に依頼し、検査手法は放射性ヨウ素（I-131）と放射性セシウム（Cs-134、137）を判別して測定する核種検査としました。

検査の結果、れんこんについては、セシウム 134 とセシウム 137 が検出されましたが、食品衛生法の放射性セシウムの基準値を大幅に下回っています。

れんこんは、5月1日に給食センターで測定を行った結果、検出限界値未満であったために5月2日の中学校の大豆ひじき煮に一人分量として4gを使用しましたものですが、今後5月におけるれんこんの使用は、小、中学校ともに予定はありません。

1. 測定日 5月7日
2. 検査機関 株式会社同位体研究所
3. 検査結果

品目	産地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)				
		ヨウ素 (I-131)	セシウム (Cs-134)		セシウム (Cs-137)	
		実測値	基準値	実測値	基準値	実測値
4月24日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.8)	50	ND (<0.9)	50	ND (<1.0)
5月1日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.9)	50	ND (<1.0)	50	ND (<0.7)
調理用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.7)	50	ND (<0.8)	50	ND (<1.0)
れんこん	茨城県	ND (<0.8)	100	1.7 (0.9)	100	1.9 (0.9)
生 筍	静岡県	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)	100	ND (<0.9)

※括弧内の数値は定量下限値で、NDは定量下限値にて不検出を意味します。